D9
AD

現代農業の新しい播種技術

アマゾーネの **50** 年の播種技術

「収穫の心配をするのではなく、正しく耕作したかどうかに心がけよ」。
（孔子、紀元前 *500* 年）

アマゾーネウェルケは、非常に合理的な穀物栽培を可能にするために長年にわたる経験を投入してきました。

プラウ耕播種およびマルチ播種用 **D9** および **AD**

新しい直装型シードドリル **D9** および **AD** は、播種技術における 50 年にわたるマーケットリーダーとしての経験を集大成したものです。

その目標は、 更なる精密性、更なる操作の容易性、そして更なる安定性です。

2011 年モデルのシードドリルには、多くの新開発技術が取り入れられたアマゾーネの最高の播種コンポーネントが統合されています。 これらのシードドリルは、最も厳しい要求事項と最大限の負荷に対応するものとなっています。 幅広いプログラムから、あなたに最適な組合せをお選びください。

目次

プラウ耕播種およびマルチ播種の新しい播種技術	S. 02-03
直装型シードドリル **D9 Special**（スペシャル）および **D9 Super**（スーパー）	S. 04-07
搭載型シードドリル **AD Special**（スペシャル）および **AD Super**（スーパー）	S. 08-09
Vario-Control（バリオコントロール）	S. 10-11
種子ボックスおよび播種量調節	S. 12-13
プラウ耕播種およびマルチ播種	S. 14-15
ローラードリルシステム **RDS**	S. 16-17
ウェッジリングローラー	S. 18-19
ローラーコールタ **RoTeC-Control**	S. 20-21
サフォークコールタ **WS**	S. 22-23
精密ハローおよびローラーハロー	S. 24-25
鎮圧および整地機械	S. 26-27
操作端末 **AMALOG⁺**（アマログプラス）および **AMATRON⁺**（アマトロンプラス）	S. 28
D9 60 Super（スーパー）	S. 29
D9 9000-2T および **D9 12000-2T Super**（スーパー）	S. 30-31
テクニカルデータ	S. 32

機械式コンビネーションシーダ – 現代的で信頼できる

アマゾーネのシードドリルと整地機械の組合せ：整地、鎮圧、播種床の準備、均等な深さの精密な播種、種子の均等な覆土および耕作後の轍のない良好な圃場。 これらは、高い種子発芽率と最高の収益の前提条件です。 これらの条件はすべて、アマゾーネの新しいシードドリル D9 および AD で完全にクリアすることができます。

アマゾーネの製品で経営改善！

直装型シードドリル **D9 Special**（スペシャル）および **D9 Super**（スーパー）

直装型シードドリル D9 は単独あるいはすべての整地機械と組み合わせて、プラウ耕播種およびマルチ播種に使用できます。 したがってこれらのシードドリルには、WS サフォークコールタまたは RoTeC-Control ローラーコールタを装備できます。

好ましくない轍を低減するために、直装型シードドリルはすべて標準装備で直径約 600 mm のホイールを装備しています。

安定した構造

D9 Special（スペシャル）

D9 Special（スペシャル）は、作業幅 2.5 および 3 m の中規模ならびに小規模農家用です。 お得なお値段のこれらのエントリー機は、小規模農家および副業農家にもアマゾーネ品質での作業を可能にします。 つまり、 繰出し精度および播種深さにおいて妥協は不要ということです。 作業幅 3 m の D9 Special（スペシャル）の種子ボックス容量は、400 l の増枠を使用して 450 l から 最大 850 l に増量できます。

D9 Super（スーパー）

D9 Super（スーパー）は、作業幅 3、3.5、4 および 6 m の中規模ならびに大規模農家用です。 カップリングフレームに関しては、作業幅 9 および 12 m の D9 Super（スーパー）もあります。
安定した構造のため、作業幅 3 m の D9 Super（スーパー）では増枠を使用して 600 l の種子ボックス容量を 1,000 l に増量することができます。

D9 3000 Special 3 m作業幅、
RoTeC Control（ローテックコントロール）ディスクコールタ）

作業幅 **3 m** の **D9 3000 Super**（スーパー）とパワーハロー **KE** およびツースパッカーローラー **PW**（搬送位置）の組合せ

直装型シードドリル **D9 Special**（スペシャル）および **D9 Super**（スーパー）との組合せ

使用における柔軟性と信頼性

アマゾーネの「リフトパック」システムは、D9 Super（スーパー）および D9 Special（スペシャル）とアマゾーネのパワーハロー KE およびロータリーカルチベータ KGとの組合せを可能にします。

このため、1 回の作業で播種床の準備と播種を同時に処理できます。 わずかな作業で、工具を使用せずに D9 を単独運転用に切り離せます。

アマゾーネの「リフトパック」システムにより、搬送時および必要な持上げ力の低減、さらにコールタ下方のクリアランスの拡大のためにシードドリルを前方へと移動させることができます。

この他に、整地機械の確実な取付けのための D9 用接続部品もあります。

確実な取付け

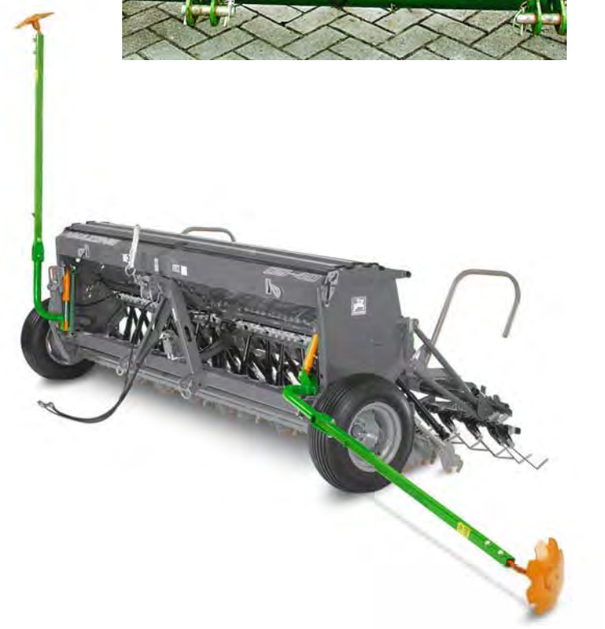
外側コールタ前の飛石ガード付きタイヤ跡消しで轍を崩すことができます。

単独運転の直装型シードドリルに、 トラクタの轍を外側から埋めるタイヤ跡消しを取り付けることができます。 石の多い土壌に対しては、専用のスプリング付きタイヤ跡消しがあります。

D9 用トラックマーカー

D9 Special（スペシャル）のトラックマーカーは、油圧式の自動スイッチング機構により水平位置まで上昇したり、下降したりします。 操作は単一動作制御バルブにより行われ、油圧式トラムラインスイッチはこのバルブの各切替え動作時にもカウントを続けます。

油圧シリンダーが D9 Super（スーパー）のトラックマーカーを作業位置から垂直休止位置にします。 これにより、圃場の縁での播種や障害物の通過が可能になります。 希望の周期でトラムラインを作るためにトラックマーカーが切り替わる際にトラムラインスイッチが行程数をカウントします。 D9 Super（スーパー）のトラックマーカーは、 損傷しないようシャーボルトで固定されています。



トラックマーカーの重量、またそれによりコンビネーションシーダーの重心を更に前方のトラクター方向へと移動させるために、トラックマーカーはロータリーカルチベータまたはパワーハローに取り付けます。この仕様の大きな利点は、トラックマーカーを整地機械の単独運転の際（たとえば前方旋回時）、あるいは単独種子ドリルと組み合せても使用できることです。

轍はフック上のブームにより、粗い土塊の圃場でも極めて良好に崩されます。 ブームにはスプリングが内蔵されていて、急激に強い力が作用した際の負荷を緩和します。

搭載型シードドリル **AD Special**（スペシャル）および **AD Super**（スーパー）

搭載型シードドリル AD とアマゾーネの整地機械およびローラーを組み合わせることで、「一体型」で相互に最適に調整されたコンビネーションシーダが出来上がります。

搭載型シードドリル AD はパッカーローラーに直接搭載されています。 このためコンビネーションシーダ全体が極めて短くコンパクトになっています。 極めて安定したシードドリルは、この重心位置の有利な設計のおかげで必要な持上げ力も比較的小さくなっています。 リアホイールへの荷重が小さいので、枕地でのトラクターの轍の深さが浅くなります。

シードドリルなしで耕起に使用するために、搭載型シードドリル AD をわずかな作業で迅速にパワーハローあるいはロータリーカルチベータとともにローラーから切り離すことができます。 ブロワーのないシードドリルの機械式ドライブにより、パワーハローへの搭載は極めて容易です。 AD は、他のメーカーのパワーハローと組み合わせることもできます。

AD Special（スペシャル）および **AD Super**（スーパー）との組合せ

AD Special（スペシャル）

アマゾーネは小規模および中規模農家用に、お得な価格の作業幅 2.5 および 3 m の搭載型シードドリル AD Special（スペシャル）をご提供いたします。 AD Special（スペシャル）は、頻繁に既存のパワーハローと組み合わせて使用されます。 尾輪が極めて大きいため、不利な条件下でも確実に信頼できる繰出しを行います。

AD Super（スーパー）

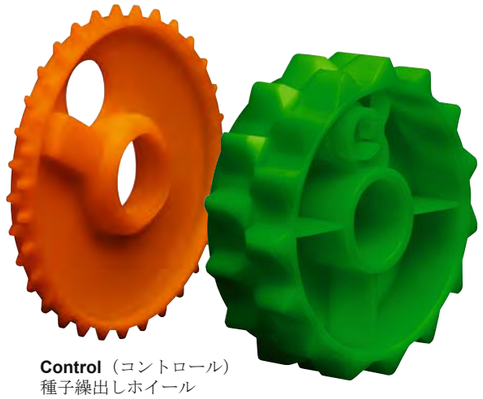
搭載型シードドリル AD Super（スーパー）は、作業幅 3 m、3.5 m および 4 m の中規模ならびに大規模農家用です。 このシードドリルは、ほとんどの場合でプラウ耕播種およびマルチ播種の汎用コンビネーションとしてロータリーカルチベータ、ウェッジリングローラーおよび RoTeC-Control ローラーコールタとともに使用されます。

AD 3000 Super（スーパー）とロータリーカルチベータ **KG**、ウェッジリングローラー **KW**、**RoTeC-Control** ローラーコールタおよび精密ハローとの組合せ。

貴重な種子を正しく繰出し！

新しい繰出し機構は、供給特性および前後方向の分配についてさらに改良されました。 これは、80 mm の Control（コントロール）種子繰出しホイールと新たに設計されたボトムフラップおよび繰出しハウジングとの組合せにより達成されたものです。 カム式種子繰出しホイールの直径が大きいので、種子は繰出し時により長い時間をかけて分離されます。 Vario（バリオ）ギヤボックスが均等な駆動を確実なものにします。

Vario（バリオ）
ギヤボックス
（内側）



Control（コントロール）
種子繰出しホイール

Vario-Control（バリオコントロール）による極めて精密な計量とスイッチオフ

無段階調整が可能でスムーズに動作する Vario（バリオ）ギヤボックスにより、1 ヘクタールあたりの播種量は 400 ～ 2 kg の範囲で精密に調節されます。 もちろん菜種、稲、穀類から豆類までのあらゆる種子は、どれも同じように精密に繰出しされます。

無段階調整が可能でスムーズに動作する Vario（バリオ）ギヤボックスは、メンテナンスフリーで操作も簡単です。 菜種の播種のために、リンクピンを引き抜いてアジテーターを停止させます。 わずかな操作でキャリブレーションテストの準備が可能です。

Control（コントロール）種子繰出しホイール:
精密種子繰出しホイール（オレンジ）と標準種子繰出しホイール（緑）の組合せにより、種子繰出しホイールを交換することなく播種量を 2 ～ 400 kg/ha の範囲で調節できます。 切り替えはわずかな作業で可能です。

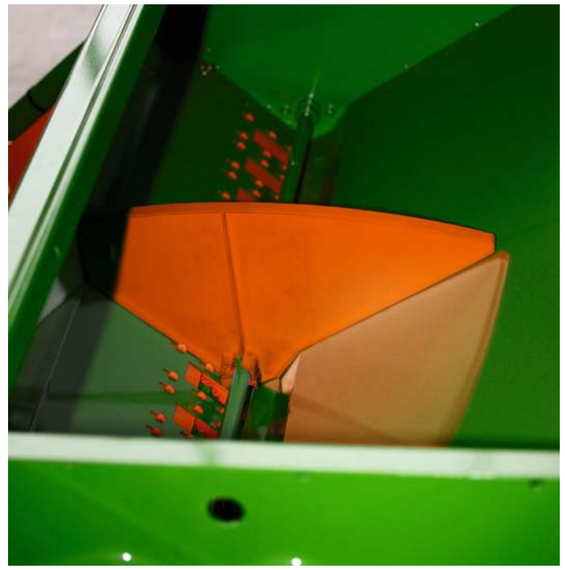
アマゾーネの繰出しシステムでは、スターフィーダー同様に種子繰出しホイールは主に上方から充填されます。 種子繰出しホイールの不均等な充填によるキャリブレーションテストと実際の播種量との相違は、発生しません。

種子ボックスおよび播種量調節

大型の種子ボックスは、ラバーシーリング付きの安定したフラップカバーで埃や雨水の浸入に対して保護されています。 グリップパイプとガス圧シリンダーによりカバーの操作は極めて容易になっています。 容量の異なる種子ボックスと増枠により、3 m の作業幅では容量を 450 l ～ 1,000 l の範囲で変更可能です。

ステップは大型なため充填時の安全が確保されます。

オプションの仕切り板は、急傾斜状態において種子が滑って片寄ることを防ぎます。



わずかな作業で、種子ボックス内に残ってしまう菜種の量を少なくするための菜種用インサートを装着できます。

播種量調節により、走行中に播種量を土壌の条件に応じて変更することができます。 油圧式播種量調節は、油圧によるコールタおよびハロー圧調整とともに 1 つの共通の制御バルブに接続されていて、コールタおよびハロー圧が上昇すると播種量も増大します。
AMATRON+（アマトロン）と連動した電子制御式播種量調節では、播種量の変化量を任意に設定して増量および減量することができます。

機械式コンビネーションシーダによるプラウ耕播種およびマルチ播種

アマゾーネのコンビネーションシーダは、有利なコストの（事前の耕起あり/なしの）マルチ播種においても従来のプラウ耕播種においても、数多くの高い評価を受けています。

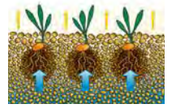
耕起された土壌への播種においては、パワーハローと機械式シードドリルおよび WS サフォークコールタ付きツースパッカーローラーが卓越したコンビネーションを構成します。 パワーハローは土壌を整地して均平し、続いてツースパッカーローラーによる鎮圧が行われます。 このようにして、後続の WS サフォークコールタにとって理想的な播種床が準備されます。

マルチ播種には、ロータリーカルチベータ、ウェッジリングローラーおよびローラーコールタ RoTeC-Control 付きのシードドリルの組合せがお勧めです。 ロータリーカルチベータは固い土壌も耕起します、その際タインは「オングリップ」になっているので耕深も維持されます。 同時に藁も混ぜ合わされます。 タイン間のスペースが大きいので、藁の混じった土壌は機械のツールキャリヤ上方領域も問題なく通過できます。 後続のレベリングバーが起伏をならします。

ウェッジリングローラーは土壌を筋状に鎮圧し、 土壌の 1/3 が鎮圧され表面の 2/3 が膨軟な状態に留まるようにします。 続いて RoTeC-Control コールタが鎮圧された溝部に種子を正確に播いていきます。

マルチ播種が可能！

作動状態にあるコンビネーションシーダの動作方法：藁の混合、播種床の準備および播種を 1 回の作業工程で



乾燥が激しい場合は毛管現象による水分が苗に到達します。

降水量が多いと鎮圧されていない柔らかい領域から排水します。

膨軟な土壌中でガス交換 – 根が呼吸できます。

ローラードリルシステム **RDS –** 種子発芽率の改善と利潤増加のためのシステム

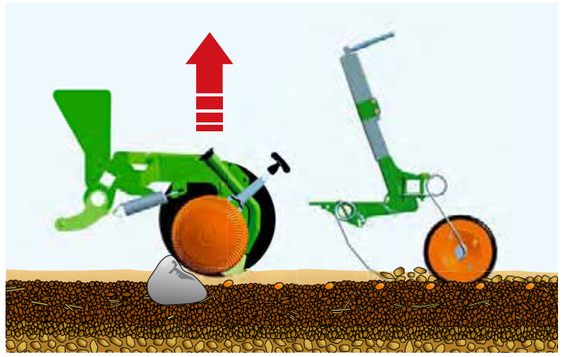
精密な鎮圧 – 精密な播種 – 調整可能な埋め込み深さ

ローラードリルシステムの作動

1. 鎮圧: 種子への理想的な水の供給のためにウェッジリングが土壌を播種溝に沿って筋状に鎮圧します。
2. 播種： 鎮圧された溝部の平坦な条跡をローラーコールタ RoTeC-Control が極めてスムーズに通過して非常に正確に溝を形成し、種子を鎮圧された溝土壌に播きます。
3. 埋め込み： 精密ハローまたはローラーハローが膨軟な土で種子を埋め込み、深さは調整可能です。ローラーハローが種子の上の土壌をプレッシャーローラーで押し付けます。

RDS Roller Drill System

石の多い土壌でも精密な種子の播種



石にあたると RoTeC-Control コールタは 1 回だけ上昇します。 パラレログラムサスペンションコールタで

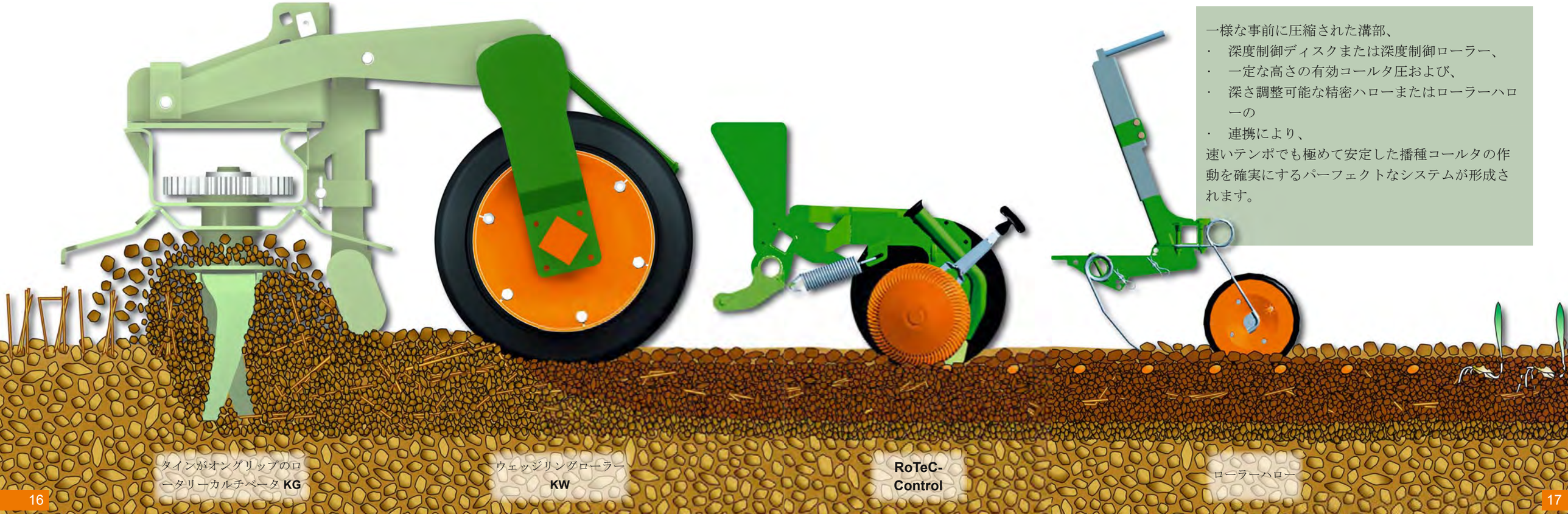
は、コールタに固定されたローラーにより 2 回上昇します。

RDS の利点一覧:

- ウェッジリングローラーによる制御された播種溝の硬化
- 制御された種子-**RoTeC-Control** コールタによる種子配置
- 制御された種子-精密ハローまたはローラーハローによる埋め込み

一様な事前に圧縮された溝部、
- 深度制御ディスクまたは深度制御ローラー、
- 一定な高さの有効コールタ圧および、
- 深さ調整可能な精密ハローまたはローラーハローの
- 連携により、

速いテンポでも極めて安定した播種コールタの作動を確実にするパーフェクトなシステムが形成されます。



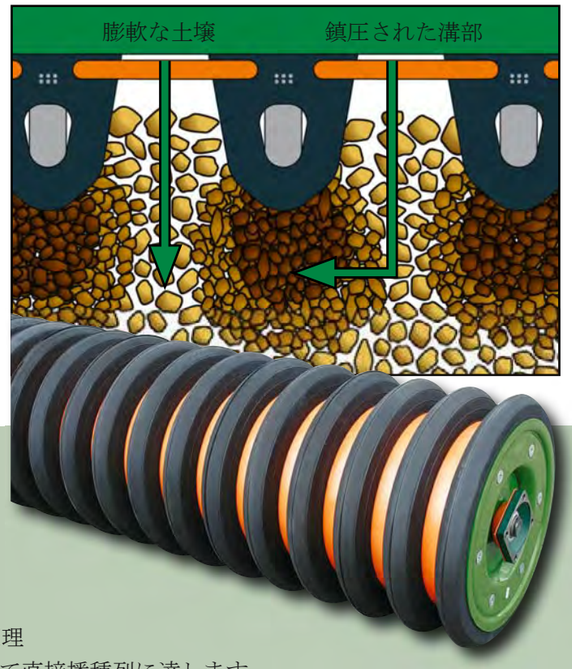
ウェッジリングローラー： 精密な位置で鎮圧 ...

... 最良の発芽

ローラーの重要な役割りは鎮圧です。 ウェッジリングローラーはラバーリングにより、種子が播かれる鎮圧された溝部を作成します。 それに続くハローが硬化されていない部分の膨軟な土で種子を覆土します。

筋状の鎮圧により土壌は常に天候条件に適した状態となり、これにより迅速で均一な生育のための条件が得られます。 このためウェッジリングローラーはスケジュール通りの耕作を保証します。

ウェッジリングの後方には、均一な圧縮されたスパイク痕のない溝が形成されます。 これには他の形状のローラーと比較して、播種コールタの作動がスムーズという大きな利点があります。



確実な播種！

高い乾燥性 – ウォーターポンプ原理
鎮圧された溝部は土壌末端において直接播種列に達します。
そのため乾燥している場合も毛管現象による水分が苗に到達します。
ウェッジリングローラーにより、土壌はウォーターポンプのような働きをします。

高い湿潤性 – ドレナージ原理
膨軟な土壌は雨水を良好に吸収して保水します。 降水量が多い場合には、水は鎮圧されていない柔らかい領域に漏出します。 このようにして土壌浸食を予防します。
この場合、土壌は排水設備のような働きをします。
播種列の間には、重い湿った土壌の場合でも種子を覆土するにための十分な膨軟な土が残されています。

ガス交換 – 肺の原理
膨軟な土を通してガス交換が行われ、根は呼吸することができます。

確実な搬送と燃料の節約

大きな直径

直径の大きなローラーは、重量が大きな面に分配されるのでより確実に支持されます。 このためウェッジリングローラーの直径は 520 または 580 mm という大きなものになっています。 これによりウェッジリングローラーは、重い土壌でも確実に回転します。

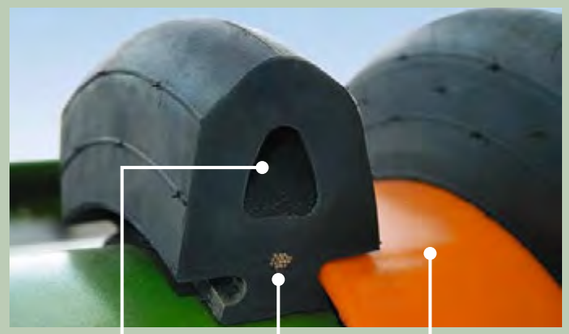
AD 3000 Super（スーパー）

ローラー直径が大きければ回転が安定します。 従ってウェッジリングローラーにより精密播種でのより速い播種速度を達成可能です。
機械式搭載型シードドリル AD は完全にローラーに固定されています。 このため重量はローラーにより理想的に支持されます。 総重量を確実に支え、播種深さを厳密に維持します。 これによりロータリーカルチベータなどの整地機械は、問題なく石を乗り越えて走行できます。

信頼できるスクレーパー

個別調節の可能なスクレーパーは、最適な位置に調節でき、粘土を多く含む土壌あるいは作物残渣量が多い場合にもウェッジリングローラーの詰まりのないスムーズな回転を確実なものにします。 このようにして燃料を節約することができます！

スチール製の堅牢なローラー本体



エアクッションによる衝撃減衰

汚れをはじく表面処理を施されたスペーサーリング

最高の安定性と完璧な固定のためのメタルインサート

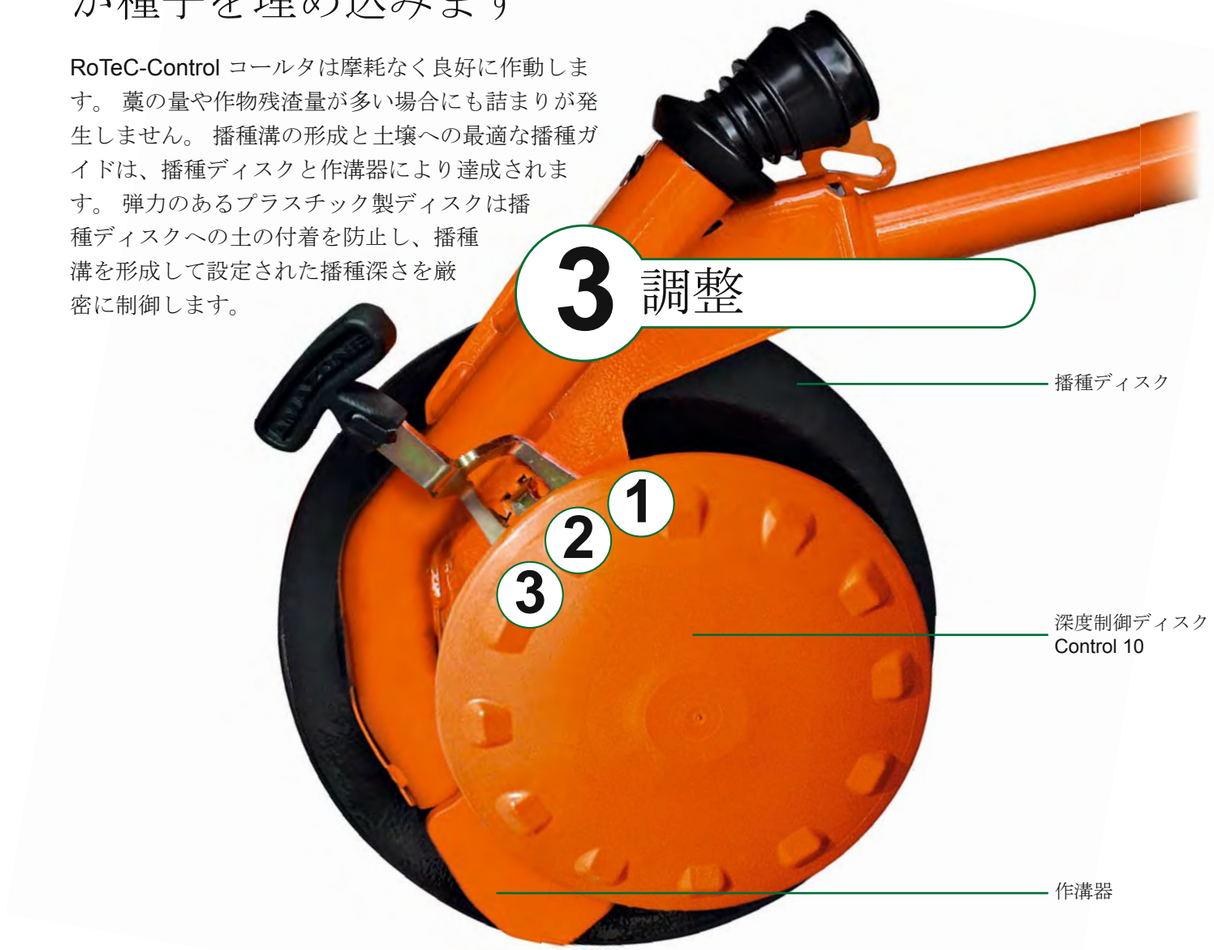
クローズドローラー

一般的に、膨軟な軽量の土壌においてはオープンローラーよりクローズドローラーの方が採算性が良好です。 またオープンローラーは、クローズドローラーより詰まりやすい傾向があります。 このためウェッジリングローラーでは、クローズドパイプにラバーリングが取り付けられています。 ウェッジリングが膨軟な土壌に沈み込むと、パイプが全長にわたりシードドリルを支持します。

固着、汚れ、詰まりが問題になることはありません。

すべてのコンビネーションシーダのプラウ耕播種および マルチ播種で、ローラーコールタ **RoTeC-Control** が種子を埋め込みます

RoTeC-Control コールタは摩耗なく良好に作動します。 藁の量や作物残渣量が多い場合にも詰まりが発生しません。 播種溝の形成と土壌への最適な播種ガイドは、播種ディスクと作溝器により達成されます。 弾力のあるプラスチック製ディスクは播種ディスクへの土の付着を防止し、播種溝を形成して設定された播種深さを厳密に制御します。



播種深さが非常に深い場合には、工具を使わずに深度制御ディスクを完全に取り外します。

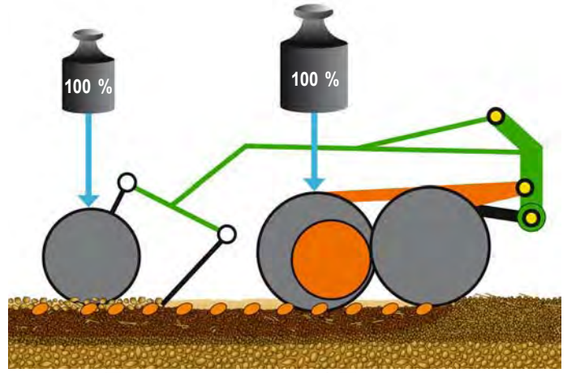
25 mm 幅の支持面の深度制御ローラー Control 25 付きの RoTeC-Control コールタ。

RoTeC： これまでに **250,000** 台以上の出荷実績！ **Agritechnica** 銀賞を受賞

RoTeC-Control コールタの極めて均等で厳密に制御された深度制御は、接地面 10 mm 幅の Control 10 付き深度制御ディスクまたは接地面 25 mm 幅の Control 25 付き深度制御ローラーにより行われます。 この深度制御は直接コールタ側方に取り付けられており、この機構は後続の固定された深度制御ローラーとともに完全なコールタシステムとして動作します。 深度制御ディスクまたは深度制御ローラーにより、コールタ圧を変化させることで播種深さを迅速、簡単かつ快適に調整することができます。 必要に応じて、播種コールタのラスターセグメントで工具を使用せずに 3 段階の微調整が可能です。

RoTeC-Control コールタは、最大 35 kg のコールタ圧で運転できます。 この点に関してアマゾーネ製品の有効なコールタ圧は比較的高いものとなっています、これは圧力が深度制御ローラーとコールタに分配されることなく、コールタのみに作用することに起因します。 乾燥した条件下でのナタネ播種あるいは早期播種では、問題なく低いコールタ圧で播種することができます。

機種に応じて、12 ～ 16.6 cm のコールタ間隔を用意しました（テクニカルデータを参照）。



ハロー圧　　コールタ圧

以下による品質と信頼性：

- 剛性の高いボロンスチール製播種ディスク
- 土壌の動きに対して小さなアプローチ角
- 深さ制限ローラーとして機能する清掃可能な摩耗に強いプラスチック製ディスク

前側および後側コールタ列間の間隔が大きいため、藁の量が多い場合にも詰まることなく確実に播種を行います。

コールタあたりカッティングディスクは 1 つだけですので、アマゾーネはコールタ列間隔が 12.5 cm の速いテンポでのマルチ播種においても中間コールタ領域での詰まりのない土の流れを保証します。

プラウ耕の後の **WS** サフォークコールタによる種子の埋め込み – 確実かつ精密

WS コールタは特にプラウ耕播種あるいは藁の量が少ない場合（たとえば菜種やてん菜）に適しています。チル鋳物製のコールタ先端部は極めて長寿命です。腐食性のある土壌条件の大規模農家では、摩耗の際に 1 本のネジを緩めるだけで迅速な先端部交換が可能です。

3 列配置と大きなコールタステップがコールタ領域での詰まりを防止します。 コールタのガイドファンネルは種子を正確にコールタ先端後方までガイドします。コールタサポートは機械を降下させた際のコールタアウトレットの詰まりを防止します。

機種に応じて、12 ～ 16.6 cm のコールタ間隔を用意しました（テクニカルデータを参照）。

チル鋳物製のコールタ先端

コールタサポート

軽い土壌への極めて平坦な種子播きあるいは中程度の藁含有量の場合のサーベル先端部が開発されました。 わずかな費用で WS コールタ先端部をこれに交換できます。

種子の溝部への播種および播種深さの低減のためにベルト播種シューを簡単に装着できます。

サフォークタインハローで覆土された種子 – 確実かつ低コスト

サフォークタインハローは主に WS コールタに使用されます。 藁のないあるいは藁の少ない土壌では、これが価格的に有利で土壌に優しい選択肢となります。

ハロー固定部には逆転保護機構が内蔵されていて、機械が誤ってバックした場合のハローの損傷を防止します。

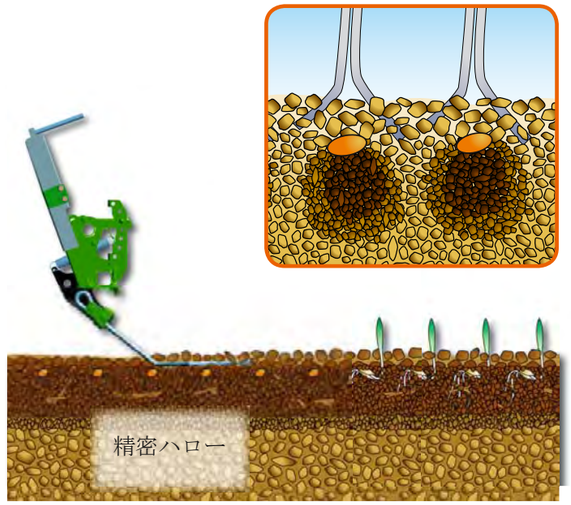
精密ハローによる種子の覆土

2005 年 7 月のテスト結果
「精密ハローはとてもよく働いてくれます ...」

精密ハロー

播種溝の覆土と整地を行う精密ハローは、藁の量が多い場合にも詰まることなく動作します。 精密ハローは個々に旋回可能なハローエレメントにより圃場の起伏に対応し、藁を含まない圃場でも藁の多い圃場でも均等な覆土を実現します。

ハロー圧は、ピンを差し替えることで機械的に一括調整されます。 油圧式ハロー圧調整では、ボルトの挿入により事前に最小および最大値が設定されます。 これにより、走行中にトラクタ油圧バルブ 1 つだけで同時にハロー圧とコールタ圧を変化する土壌に合わせて調整できます。



コールタ圧調整

機械式シードドリルでは、コールタ圧は機械的にあるいは油圧により1体で調整されます。

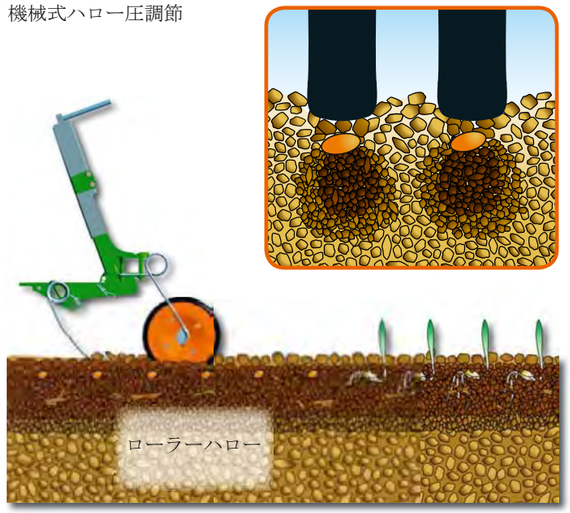
事前マーキング

トラムラインに到達するとトラックディスクは自動的に降下し、直線のトラムラインをマーキングします。これにより、種子を播く前にトラムラインを目視確認できます。

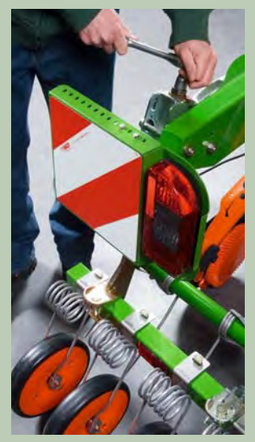
ローラーハローによる追加押付け

ローラーハロー

ローラーハローがさらに播種溝を上から押し付け、理想的な発芽条件を実現します。 柔らかい乾燥した土壌への夏作物あるいは菜種の播種に特にお勧めします。浸食を抑える波状の表面形状となります。 特筆に値する長所は、ローラー圧をコールタ圧とは完全に独立して調節可能なことです。



ローラー圧調節



スピンドルセットにより、精密ハローおよびローラーハローを無段階で一括調節することができます。 ローラーハローでは、ローラー圧の強度を柔軟に調節することができ、またプレッシャーローラーを完全に非作動にすることもできます。このようにして、たとえば後の秋播きの際に土壌が湿っている場合にはプレッシャーローラーを完全に上昇させることができます。 ホールパターンによりフロントハローを厳密に調整できます。

すべてのコンビネーションシシーダに適合するローラーと整地機械

タインが垂直位置のパワーハロー

2.50 m; 3.00 m; 作業幅 4.00 m

ツースパッカーローラー

- 表面全体を鎮圧
- 粘性の高い土壌や藁が多い場合にも詰まりません
- 超硬合金コーティングによる摩耗に強いスクレーパーを標準装備（コーティングされていないスクレーパーと比較して 3 ～ 5 倍の長寿命）
- 懐の深いスクレーパによって湿った土壌でも平らな仕上がりが得られます

ツースパッカーローラー PW： 420 mm
2.50 m; 作業幅 3.00 m

ツースパッカーローラー PW： 500 mm
2.50 m; 3.00 m; 3.50 m;
作業幅 4.00 m

ツースパッカーローラー PW： 600 mm
3.00 m; 作業幅 4.00 m

タインがオングリップ状態のロータリーカルチベータ

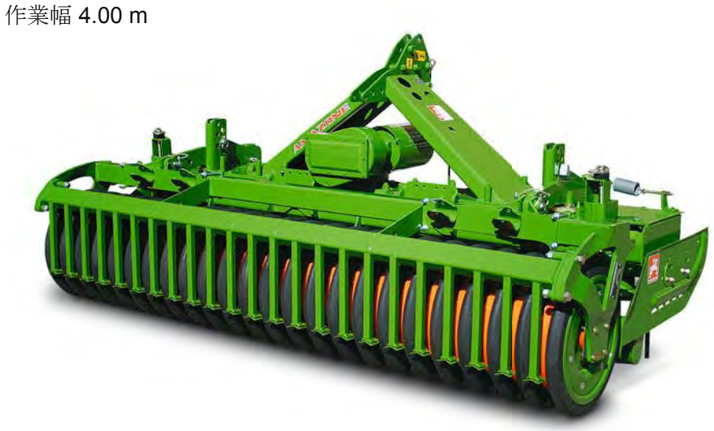
3.00 m; 3.50 m; 4.00 m 固定、
5.00 m; 6.00 m 作業幅 旋回可能

ウェッジリングローラー

- あらゆる土壌と条件に汎用的に使用可能
- 筋状の鎮圧。 種子は後続のコールタにより鎮圧された溝部に播かれます
- もちろん重い土壌においても、種子を覆土するに十分な量の膨軟な土が残ります
- どのような天候であろうと、湿った土壌にも乾燥した土壌にも適合

ウェッジリングローラー KW: 520 mm
2.50 m; 作業幅 3.00 m

ウェッジリングローラー KW: 580 mm
3.00 m; 3.50 m; 作業幅 4.00 m



車載コンピュータ **AMALOG+**（アマログ）および **AMATRON+**（アマトロン）

車載コンピュータ AMALOG+（アマログ）および AMATRON+（アマトロン）はトラムラインスイッチおよび事前マーキングを制御します。 トラムラインの設定はセンサーによりチェックされます。 他のトラムライン周期へのプログラミング変更は極めて簡単です。 トラックマーカーおよびトラムラインスイッチの作動位置、播種済み面積および充填レベルが表示されます。

AMATRON+（アマトロン）によりトラクターから播種量を調整して（例：10 % ジャンプ）、傾斜地に種子を播くこともできます。 この場合トラムラインでは穀物の播種は交互にオン/オフにされ、トラムラインは目視できますが、トラムラインでの水の浸食は播種された領域により抑制されます。
AMATRON+（アマトロン）は内蔵されているシリアルインターフェースにより、GPS 端末と組み合わせて圃場の特定領域への播種を行うこともできます。

高い作業効率、精密な播種作業 – 作業幅 **6 m** の **D9 60 Super**（スーパー）、

体規模農家用の簡単で確実な技術

作業幅 6 m の D9 60 Super（スーパー）は、1 つのカップリングフレームに大型のラバーホイールで取り付けられた 2 つの作業幅 3 m のシードドリルで構成されています。 これにより、お得な価格で大面積用シードドリルを手にすることができます。 軽くて大きな荷重には耐えられない土壌では、2 つの大型ラバーホイールに代えて合計 4 つのホイールを取り付けることもできます。

コンパクトな設計のため、130 kW（180 PS）クラスのトラクターとともに 3 点リンク装着の単独機として使用することもできます。

お得な価格で最大限の作業効率 –
作業幅 **12 m** の **D9 12000-2T Super**（スーパー）、
作業幅 **9 m** の **D9 9000-2T Super**（スーパー）

大面積用の実績ある機械

D9 12000-2T Super（スーパー）は、3 台の D9 4000 Super（スーパー）を連結した組合せで、合計作業幅は 12 m になります。 各単独機はそれぞれ専用の走行機構で走行するので、起伏の激しい圃場にも柔軟に対応します。

カップリングフレームは、180 kW（240 PS）クラスのトラクターで牽引します。
作業幅 9 m の D9 9000-2T Super（スーパー）は、2 台の D9 3000 Super（スーパー）で構成されます。

搬送および圃場端部での方向転換の際には、3 つのシードドリルは「リフトパック」システムにより持ち上げられます。

極めて安定したトラックマーカーがトラクターの中心線を設定し、切替え時には垂直に畳まれます。 中央のシードドリルにはトラムラインスイッチが装備されていて、トラムラインを 12、24 または 36 m 間隔で設定できます。 搬送時には、左右の機械を折り畳みます。 連結された状態での搬送幅は約 6 m です。 トラクターで必要になる油圧制御バルブは 2 つだけです。

3 台の D9 Super（スーパー）は単独で使用することもできます。
カップリングフレーム KR 12002 および KR 9002 は多くの用途を提供し、極めて経済的に使用することができます。 カップリングフレームには、シートドリル D9、精密シーダ ED またはショートディスクハロー Catros（カトロス）を装備することもできます。

テクニカルデータ:

直装型シードドリル **D9**・直装型シードドリル **AD**

	D9 2500 Special (スペシャル)	D9 3000 Special (スペシャル)	D9 3000 Super (スーパー)	D9 3500 Super (スーパー)	D9 4000 Super (スーパー)	D9 60 Super (スーパー)	D9 9000-2T Super (スーパー)	D9 12000-2T Super (スーパー)	AD 2500 Special (スペシャル)	AD 3000 Special (スペシャル)	AD 3000 Super (スーパー)	AD 3500 Super (スーパー)	AD 4000 Super (スーパー)
作業幅 (m)	2.50	3.00	3.00	3.50	4.00	6.00	9.00	12.00	2.50	3.00	3.00	3.50	4.00
搬送幅(m)	2.50	3.00	3.00	3.50	4.25	6.25	6.00-6.50		2.50	3.00	3.00	3.50	4.00
の条数 WS コールタ	15/21	18/25	18/25	21/29	24/33	48/60	–	–	15/20	18/24	18/24	21/28	24/32
条間 WS コールタ	12.0/16.6	12.0/16.6	12.0/16.6	12.0/16.6	12.0/16.6	10.0/12.5	–	–	12.5/16.6	12.5/16.6	12.5/16.6	12.5/16.6	12.5/16.6
の条数 RoTeC-Control コールタ	15/17/21	18/21/25	18/21/25	21/25/29	24/29/33	48	54/63/75	72/87/99	15/20	18/24	18/24	21/28	24/32
条間 RoTeC-Control コールタ	12.0/14.7/ 16.6	12.0/14.3/ 16.6	12.0/14.3/ 16.6	12.0/14.0/ 16.6	12.0/13.8/ 16.6	12.0	12.0/14.3/ 16.6	12.0/13.8/ 16.6	12.5/16.6	12.5/16.6	12.5/16.6	12.5/16.6	12.5/16.6
種子ボックス容量 増枠なし(l)	360	450	600	720	830	1200	1800	2490	360	450	600	720	830
種子ボックス容量 増枠付き(l)	–	850	1000	1200	1380	1720 2000	3000	4140	–	850	1000	1200	1380
重量 WS コールタ[1] (kg)	630	690	780	918	1070	1540	–	–	632	668	668	905	1047
重量 RoTeC コールタ[1] (kg)	710	760	850	1010	1180	1700	5950	7060	675	747	747	997	1153

[1]機械式コールタ圧調節、精密ハロー、トラックマーカーおよびトラムラインスイッチ付きの基本装置の重量
図表、説明、技術データは改良のため予告無く変更されることがあります。 機械の図は、各国の道路交通法規に対応していない場合もあります。 道路走行時の規定の装備については、取扱説明書をご覧ください。

あらゆる状況での安全性

道路搬送

アマゾーネのシードドリルには、搬送時の安全に関する道路交通法規の要求事項を満たす固定取付けされた道路走行用ライトが装備されています。 写真はフランスで必要とされる側方警告表示板を取り付けた状態です。

アマゾーネのシードドリルで経営改善

空気圧式シードドリル **AD-P Special**（スペシャル）

空気圧式シードドリル **AD-P Super**（スーパー）

空気圧式マルチ播種コンビネーション フロントタンク **Avant**（アバント）

大面積用シードドリル **Cirrus**（シーラス）

大面積用シードドリル **Citan**（シタン）

空気圧式直接シードドリル **Primera**（プリメーラ）

AMAZONEN-WERKE H. DREYER GmbH & Co. KG • Postfach 51 • D-49202 Hasbergen-Gaste
電話 **+49 (0)5405 501-0 • FAX +49 (0)5405 501-193**

MI 3128 (ja) 03.11
Printed in Germany

www.amazone.de **www.amazone.jp** **E-Mail: amazone@amazone.de**